

素粒子物理研究所の広報担当者が 北上サイトを視察

世界の素粒子物理研究所の広報担当者による視察は、ILC建設候補地や周辺の生活環境を把握し、世界へ広く発信する目的で企画され、スイスの欧州合同原子核研究所（CERN）や中国高能物理研究所など7カ国9研究機関から12人が参加しました。



ILC建設候補地周辺を視察する一行

世界各国の素粒子物理研究所の広報担当者が、4月23、24日の2日間、国際リニアコライダー（ILC）の建設候補地である北上高地周辺を視察。参加者は、豊かな自然や住民の熱意に触れ、「ILCの候補地として適切である」と認識を強くしていました。



大原市民センターでILCポスターを鑑賞

一行は23日、一関市の市街地をバスで見学し、大東町大原のILC建設候補地周辺を視察。大原市民センターでは、地元の子童生徒が描いたILCをテーマにしたポスターなどを見学しました。その後、東日本大地震被災地の陸前高田市やILC関連部品の陸揚げが想定される気仙沼市の港も視察し、24日には、平泉町、奥州市を訪れました。

ILCは岩手、日本の将来を担う若者の希望となるでしょう。「将来、世界から研究者が集まることが想像できる場所。素晴らしい」「大原市民センターで見学したポスターは、それぞれのストーリーがあり、とても印象的で感動した。ストーリーを描き、チャレンジすること「が大事」などと語り、ILCの実現に期待を込め、今後それぞれの方法で北上高地の様子を情報発信していくと話していました。

ILC講演会 2015 in 大東

一般社団法人国際経済政策調査会が主催するILC講演会「ILCの日本実現に向けて」が4月4日、大東町摺沢の大東コミュニティセンター室蓬ホールで開催されました。

講演は中央大学理工学部人間総合理工学科教授で東京大学名誉教授の石川幹子氏と東北大学・岩手大学客員教授で高エネルギー加速器研究機構（KEK）名誉教授の吉岡正和氏のお二人



石川教授の講演の様子

Contents

- ◆素粒子物理研究所の広報担当者が北上サイトを視察
- ◆ILC講演会2015 in大東開催
- ◆「ニコニコ超会議2015」でILCをピーアール
- ◆ILC学びツール 大東図書館
- ◆Ichinoseki Lives Cosmopolitan
- ◆お知らせ
- ◆教えてネイトさん!

を講師に迎え、約350人が聴講しました。「地方創生と国際リニアコライダー」伝統と豊かな自然がはぐくんだ文化を磨く」と題して講演した石川教授は、「北上高地は自然と文化が調和したとても素晴らしい地域。ゆったりとしていて包容力を感じる里山は、ILC立地評価会議

で極めて高く評価された」とした上で、今後 ILC 誘致を進めるにあたり「広域的なエリアでのグラウンドデザイン（長期の理想計画）が必要である」と強調しました。

また、「まちの中に自然が存在し、里山の中で暮らせる環境が北上高地にはある。地域が持っている大きな可能性を ILC と組み合わせると世界のどこにもないユーロピアをつくれると思う」と語りました。

「加速器産業とがん治療革命」と題して講演を行った吉岡教授は、自身も開発に携わる、加速器を用いて発生させた中性子によって、がんを切らずに撲滅するホウ素中性子捕捉療法「BNCT」について説明、加速器技術を応用した医療分野



吉岡教授の講演の様子

での取り組みなどを紹介しました。

また、「ILC で使われる加速器技術を活用し新たな産業に結びつける研究者などが必ず出てくる」、「東北は、土器、石器、漆器という現在の産業につながる技術がそろって育まれてきた地域である。東北における自動車関連産業に並び立つ加速器産業の確立を」と語り、参加者は熱心に耳を傾けていました。

「ILC」超会議 2015 首都圏で ILC を PR

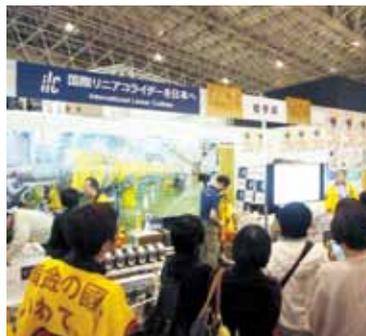
ニコニコ超会議は、ニコニコ動画を運営する民間企業が主催し、開催期間中、多くの幅広い年代の来場者があるほか、インターネット上の視聴者も700万人を超える（昨年度実績）参加型複合イベントです。そのイベントが、4月25日、26日、千葉県の幕張メッセで開催され、岩手県の魅力及び ILC の実現に向けた取り組みを発信するため岩手県がブースを出展。当事

ILC 推進課の職員も岩手県の担当職員と一緒に ILC の PR を行いました。

ブースでは、ILC 加速器の心臓部である「超伝導加速空洞」の実物や「クライオモジュール」の巨大ポスターを展示。達増拓也岩手県知事が生出演した「いわて希望チャンネル」で、東京大学大学院理学系研究科特任研究員でイラストレーターの秋本祐希氏をゲストに迎え、イラストを使って素粒子や ILC につ



岩手県知事出演「いわて希望チャンネル」を会場から生放送



ILC を首都圏で PR 岩手県ブースの様子

いてわかりやすく説明する様子が会場から生放送され、幅広い世代に ILC に関する情報が発信されました。

本イベントには2日間で延べ15万人が来場。岩手県のブースを訪れた方々は、展示物に目をとめ、職員の説明に耳を傾けていました。

見る・聞く・読む・知る 「ILC 学びツール」 大東図書館

大東町摺沢の大東図書館では、ILC に関する普及啓発と理解促進を目的に、3月28日から「見る・聞く・読む・知る」をテーマにした「ILC 学びツール」コーナーを設置しています。

この企画は、高エネルギー加速器研究機構（KEK）と一関商工会議所大東地域運営協議会の協力により、ILC 関連の実験施設を紹介するパネルや、実寸大の「クライオモジュール」のポスターなどを展示。併せて、FM あすもの協力により録音した音声ガイドによる解説を聞くことができるほか、加速器、



加速衝突実験装置のミニチュア



大東図書館「ILC 学びツール」の様子

素粒子物理及び宇宙など、ILC 関連の書籍や DVD の貸し出しも行われています。ほかにも、奥州宇宙遊学館（奥州市）設計による加速衝突実験装置のミニチュアも展示され、加速衝突の体験ができ、誰でも気軽に知り、学び、楽しむことができます。内容となっております。

この展示は、同館2階で当面開催しておりますので、この機会にぜひご覧ください。



©Rey.Hori/KEK

平成27年度東北ILC推進協議会総会

開催日 4月13日 **場所** ウェスティンホテル仙台

東北の産学官から約160人が出席。同協議会共同代表の里見進東北大学総長が「有識者会議における検討事項が審議中である。これから1年以内に政府の判断が下されることを期待する」と挨拶。

平成26年度事業活動報告・決算、平成27年度事業計画（講演会開催など）・予算及びILC要望に関する決議などについて承認されました。

ILCに関する有識者会議（第3回）

開催日 4月21日 **場所** 文部科学省

ILCに関する有識者会議（座長・平野真一 名古屋大学名誉教授）の第3回会合が開催され、「素粒子原子核物理作業部会」「技術設計報告書検証作業部会」の2つの作業部会の検討内容が報告されました。

会合では、加速器建設の見積額が1兆1千億円に上ることが示され「国際分担による応分の経費負担の必要性」や「国際的な求心力が失われることがないよう、判断の遅延を招かない体制の整備の必要性」などの留意点が示されました。

今後は、国際協力による経費の負担や、有能な研究者・技術者の確保が焦点となる見込みで、新たに人材確保、育成に関する作業部会を設置する方針も示されました。

また、会議の中で、文部科学省が委託調査で実施した技術的・経済的波及効果の分析結果として、ILCによる国内への経済波及効果は、建設から20年間で約4兆4606億円、雇用創出は、同じく20年間で約25万5000人との推計も示されました。

リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟訪米

訪米期間 4月26日～5月1日 **場所** ワシントンなど

超党派のリニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟の訪米団16人は、ワシントンなどを訪れ、米連邦議会議員らと意見交換を行いました。

会議では、宇宙・エネルギー、先端加速器などのプロジェクトを包括的に推進する日米の国会議員による「日米科学・技術協力推進議連」を創設し、その中にILCを位置付けることを確認しました。今後、創設を目指して具体的な作業に入る見通しです。

国際リニアコライダー東京イベント

開催日 4月22日

場所 東京大学 伊藤国際学術センターほか

ILC計画を推進する国際組織であるリニアコライダー・コラボレーション（LCC）と、先端加速器科学技術推進協議会（AAA）の共催による、ILCのスペシャルイベントが開催されました。

第1部のシンポジウムでは、世界24カ国から約400人が出席し、ILC計画の意義について、様々な分野からの有識者による議論が行われたほか、ILC計画を推進する研究者から、計画の進捗に関する情報も報告されました。

シンポジウムの冒頭では、ILCの実現を目指し各国政府間、各国財政当局間の協議の促進に努力するなどとする、LCCと世界の研究者による「ILC東京宣言」が発表されました。

国連防災世界会議岩手県シンポジウム

開催日 3月17日 **場所** ベリーノホテル一関

国連防災世界会議の岩手県関連事業として開催されたシンポジウムにおいて、ILCのジオラマやパネルなどを展示し、国内外からの参加者に対してILCの建設候補地であることをPRしました。

なお、ILCのジオラマは、一ノ関駅新幹線コンコース内と市役所1階正面玄関脇に設置しています。ぜひ、ご覧ください。

国際化推進員の設置

平成27年4月から市の国際化推進員としてネイト・ヒルさんが着任しました。

主な業務は、ILCの実現に向けた情報発信、国際化、国際交流の推進です。ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス（SNS）を活用し、外国人の視点で市の魅力を世界中に発信します。



Ichinoseki Lives Cosmopolitan



キラ・シカロさん

市ではILCの実現を見据え国際化を推進しています。

ここでは、市内で活躍する国際人を紹介します。

今回は、10年ほど一関市に住んでいるカナダ出身のキラ・シカロさん。英語と日本語はもちろん、お母さんがイタリア人ということでイタリア語も流暢です。

Q: 趣味は？

A: 猫5匹と犬2匹を飼っていて、みんなと遊ぶことが好き。そして裏庭で花と野菜を育てることも。それから旦那さんや友達のために料理をする。自分の好きな食べ物は手作りピザとか、たい焼きも大好きなのでよくお店でできたてを買ってくる。美味しいね！

Q: 一関市のどんなところが好き？

A: 山や川など、美しい自然があるところ。カナダも森や湖など自然が多い所です。

Q: 子供たちの英語教育に関して、新たに挑戦してみたいことは？

A: 自信を持って喋ることができるようになってほしいと思うので、生きた英語を教えたり工夫していきたいと思う。

Q: 最後に、ILCの実現に向けて一言お願いします。

A: 実現すれば長年にわたって波及効果があると聞いたので、市民として積極的に応援したいです。

お知らせ

◎いちのせきサイエンスカフェ開催予告

コーヒーなどを飲みながら、素粒子物理学をはじめとする科学について、研究者などの専門家と気軽に語り合い、科学を身近に感じてみませんか？

【会場】一関図書館（大手町2-46）2階 サンプルーム

【参加人数】30人程度

【参加料】200円（但し学生は無料）

【内容】下表のとおり

【申込・問合先】市ILC推進課 TEL: 0191-21-2111（内線8646・8647）

| 第1回 | | 第2回 | |
|-----|--|-----|------------------------------------|
| 期日 | 8月2日(日) | 期日 | 9月12日(土) |
| 内容 | 【中高生向け】 ILCで見る素粒子と宇宙 | 内容 | 【中高生向け】 宇宙誕生の謎に迫るILC |
| 講師 | 東京大学大学院理学系研究科 特任研究員・イラストレーター 秋本祐希氏 | 講師 | 高エネルギー加速器研究機構 広報室 理学博士 藤本順平氏 |
| 第3回 | | 第4回 | |
| 期日 | 11月15日(日) | 期日 | 1月16日(土) |
| 内容 | 【市民向け】 北上サイトでのILC | 内容 | 【市民向け】 ILCを見据えたまちづくり |
| 講師 | 東北大学大学院理学研究科 准教授 佐貴智行氏 | 講師 | 東北大学キャンパスデザイン室 キャンパスデザイナー 小貫勲子氏 |

◎地質調査にご協力を

東北大学では、7月から12月にかけて、大東地域において地質状況を把握するためのボーリング調査や地面の振動を観測する調査などを行います。

岩手県と市は、調査の円滑な実施に向け協力するとともに、調査を行う業者に対し、調査対象地域の皆様への十分な説明を行うよう申し入れております。ご理解とご協力をお願いいたします。

ILCニュース Vol.13

いちのせきリニアコライダー通信 July 2015

発行 岩手県一関市

編集 市長公室 ILC推進課

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
TEL 0191-21-2111（内線8646・8647）
FAX 0191-21-2164
URL <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/ilc/>
E-mail ilc@city.ichinoseki.iwate.jp

English

教えてネイトさん!

今すぐ使える ネイトの英会話教室

A: What's this?

B: It's a diorama of the ILC.

A: Looks interesting. Where is it?

B: Actually there are two. One is in Ichinoseki station and the other is in the city office.

A: Nice. Is there information online about the ILC?

B: Yep. The city has an ILC website, including English conversations.

A: Alright! I'll check it out!

(和訳)

A: これはなんですか？

B: ILCのジオラマです。

A: 面白そうだね。どこにあるの？

B: 実は2台あるんだよ。一つは一関駅構内であって、もう一つは市役所にあるよ。

A: いいね。インターネット上にもILCに関する情報がある？

B: ええ、市がILC推進ホームページを設けていて、英会話も載っているよ。

A: よし! 見てみる!



HP、SNSでILC情報を発信中!

専用のホームページ (HP)、ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) を利用し、ILCの情報を発信しています。

パソコンやスマートフォンなどの携帯端末から手軽に利用できますのでぜひご覧ください。



©一関市国際リニアコライダー推進ホームページ

一関市 ILC 検索